

隠れた疾患の早期発見のために 忙しくても定期的な健診を!

日本では歯の病気を予防する目的で歯医者に通う人より、歯に不具合を感じた時だけ行くという人が多数のようです。しかし、歯科で定期健診を受けるか受けないかで、歯の健康に限らず、体の健康面、金銭面でも大きな差が出てくるということをご存知ですか? 自覚症状はなくてもトラブルの原因が潜んでいる可能性があります。定期的な健診で隠れた疾患を早期に発見しましょう。

自覚症状はなくてもトラブルの原因が潜んでいるかも!



初期のむし歯



初期のむし歯は自覚症状がなく、黒くなっていないので鏡で見てもわかりません。

神経が無い歯



神経が無い歯は健康な歯より、脆くなります。また、その歯に何らかの異常があっても自覚できません。

初期の歯周病



初期の歯周病は自覚症状がありません。気づいた時にはかなり進行している場合も。

2次カリエス



詰め物や被せ物と歯の隙間が細菌の棲みかとなり、むし歯になる可能性があります。

支える歯



歯を失って、ブリッジや入れ歯をしている場合は、支えとなる歯への負担が気になります。

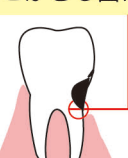
歯科医院での定期的なフッ素塗布が歯を守ります!

加齢や歯周病が進行して歯ぐきが下がると歯根が露出します。歯根の表面は歯質が弱いのでむし歯ができやすくなります。また、歯根が露出すると知覚過敏の原因にもなります。定期的に歯科医院でフッ素を塗り、歯質を強化し歯を守りましょう!




歯根が露出すると

根面う蝕



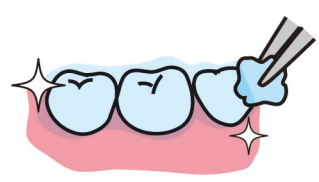
ここがむし歯に!

知覚過敏



ここから刺激が!

歯科医院でのフッ素塗布で歯質を強化



根の部分は柔らかいはずなのに!

